

注意点

- ・本ハザードマップは、津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）、津波の到達時間（浸水深1cmの津波が浸水し始める時間）を表したものです。
- ・本ハザードマップに掲載されている情報は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

- ・浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- ・本ハザードマップの浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
- ・浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

使用した津波シミュレーション結果について

本ハザードマップは、平成25年3月に和歌山県が公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水想定を基に作成しています。主な計算条件は次の通りです。

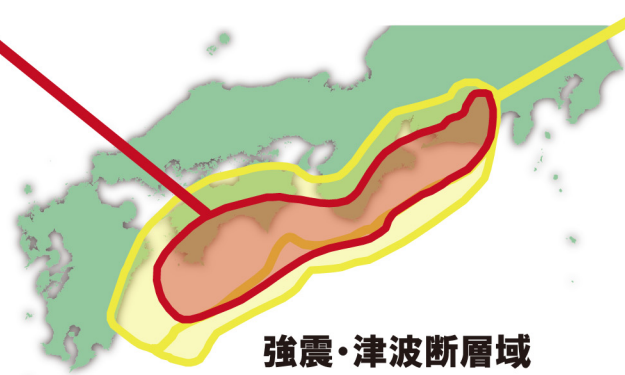
約100年周期で発生する、頻度が高く、まず対策が必要な津波

これまでの想定
(東海・東南海・南海3連動地震)

- ・内閣府が2003年（平成15年）に宝永地震、安政地震など実際に発生した地震を基に想定した、従来から和歌山県が防災・減災対策の「想定津波」としてきたもの。
- ・約100年周期で発生する、頻度が高く、まず対策が必要なもの。
- ・引き続き、県民の命と財産を守るため、ソフト対策、ハード対策による防災・減災対策の「想定津波」の中心とするため、新しい地形データ等を用いて想定した。

計算条件

- 地震の規模 : マグニチュード8.7 (Mw)
- 最大津波高 : 7m
- 到達時間 : 25分（第1波最大）
- コンクリート構造物 : 地震動により「破壊する」ものとする（護岸・防波堤等）（ただし技術的評価結果があれば沈下量を算定）津波が越流し始めた時点で「破壊」とする
- 盛土構造物（堤防） : 地形データとして取り扱う（破壊しない）



強震・津波断層域

計算条件（共通）

- 潮位条件 : T.P.+1.00m（朔望平均満潮位※）
- 道路・鉄道 : 地形データとして取り扱う（破壊しない）
- 建築物 : 建物の代わりに津波が遡上するときの摩擦（粗度）を設定
- 地盤変動量 : 地盤の隆起は考慮しない

※朔望平均満潮位：朔（新月）および望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値

新しい想定
(南海トラフの巨大地震)

発生頻度は極めて低いが、仮に発生すれば、被害が甚大な津波

- ・内閣府が平成24年8月に公表した浸水想定を基に、より詳細なデータ等を用いて想定したもの。
- ・発生頻度は極めて低いが、仮に発生すれば、被害が甚大なもの。対策が非常に困難。
- ・「何としても逃げ切る」ためのソフト対策を中心とした防災・減災対策を検討するために想定した。

計算条件

- 地震の規模 : マグニチュード9.1 (Mw)
- 最大津波高 : 12m（到達時間26分）
- 到達時間 : 15分（津波高3m）
- コンクリート構造物 : 地震動により「破壊する」ものとする（護岸・防波堤等）
- 盛土構造物（堤防） : 地震動により、地震前の25%の高さとする（75%沈下）その後、津波が越流し始めた時点で「破壊する」ものとする

発行 田辺市
企画・編集 田辺市防災対策課、(株)アイ・ディー・エー社会技術研究所
監修 片田敏孝（群馬大学大学院教授）
群馬大学広域首都圏防災研究センター災害社会工学研究室

平成26年3月